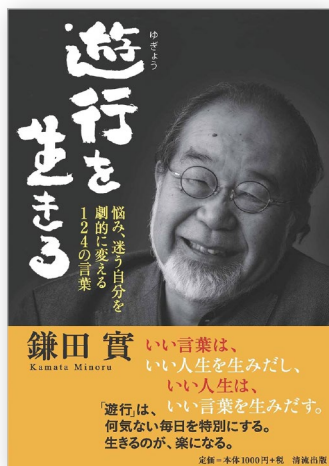




今月の特集関連本



遊行を生きる

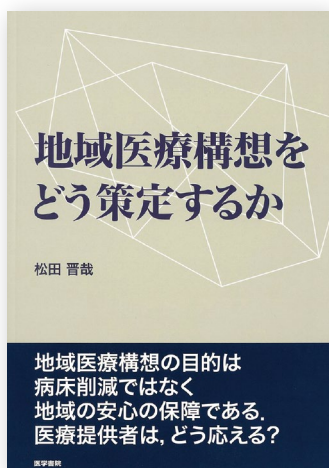
悩み、迷う自分を劇的に変える 124 の言葉

鎌田 實=著

本体 1,000 円+税/四六・232 頁/清流出版/2017

ゲストライブ (p.691) のゲスト、鎌田先生の最新刊。

「遊行」とは、先入観やこだわりを捨て、自由な感性で生きること。「遊行」の精神で、生きるのが楽になる。人生の終盤を迎えた著者が、自身も悩みつつ見つけた、人生の切り拓き方・考え方を、エピソードや名言などを紹介しながら綴る。「この時期こそ好きに生きていいのです。『静』ではなく『動』を感じます。『遊行』を意識すると、外にはじけていくパワーが生まれてくるのです」(清流出版ホームページより)。



地域医療構想をどう策定するか

松田晋哉=著

本体 3,500 円+税/B5・120 頁/医学書院/2015

地域医療構想の本来の目的は病床削減ではなく、医療を通して地域の安心を保障することだと著者は説く。2015 年 3 月に「地域医療構想策定ガイドライン」が公表され、構想圏域ごとに地区医師会の代表者や保険者を含めた関係者の合議による地域医療構想の策定が求められた。本書は、この前例のない事態に戸惑う関係者の指南書として著された。いま改めて、地域医療構想の背景となる考え方を捉え直したい。